



団体交渉を通じて労働環境改善へ！

長岡車両センター女性用休養管理室に電気毛布配備！

東日本ユニオンは申4号「2021年度冬期の取組み」に対する申し入れ団体交渉において、JR労働者の要求として長岡車両センター女性用休養室に電気毛布配備と暖房設備設置を求めました。会社は交渉では個人差があり問題ないと現場から伺っていると主張していましたが、電気毛布が配備されることになりました。現場から粘り強く声を上げ続けた成果と言えます。今後も東日本ユニオンはJR労働者の声を元に労働環境改善に取り組みます。

申4号第21項交渉要旨（2021年11月15日開催）

長岡車両センターの女性用休養管理室に電気毛布を配備する等、暖房設備を設置すること。

（会 社）休養管理室に電気毛布を設置要求なので、暖房設備が無かったり故障なのかということを確認した。誰もいない部屋であれば冷たい状況であり、寒さの感覚というのは人それぞれなので、聞くと女性社員は自前で服を「浴衣を着たくない」と言うことで、自分で用意しているというところがあってそこはご自身で調整している中なので特にそのように問題になるほど寒いというところはないということ伺っている。

（組 合）毎日泊っていれば良いが、冬期に入ってから2ヶ月3ヶ月ずっと冬の中暖房を1回も付けない部屋であれば、暖まるまで相当時間が掛かることもある。

（会 社）そこまで使用頻度が下がると感覚の議論になってしまう。

（組 合）冷え切っている。だから即効性があるのは電気毛布である。直ぐ暖まるので**事前に暖めることができれば1番良いが即効性があるものとして電気毛布を要求する。**

（会 社）基本的にはそこまでは無いですというところと、他の箇所では行っていない現実もあるし、家のような快適な状況下を作っている訳ではない。聞いている限りでは女性社員の中で個人差があるにしても問題無いという話は伺っているので、寒い人に合わせるという話にはならない。

（組 合）男性でも毛布を使う人もいれば使わない人もいるしそこは**個人差があると思うが、電気毛布であれば使わなければ使わなくても良いし、寒い人に合わせるべきではないか。**

（会 社）運輸区や車両センター当直にも聞いているが、そういう声は聞いていない。

（組 合）現場長判断で持ち込むことや、「冬期だけ置かせて下さい」と言うことは可能か？

（会 社）現状であると「そこまで必要無い」と言う考えであるのでそこまではする必要はないと思う。